

## 別紙 「平成30年度 学力向上アクションプラン」

足立区立加平小学校 学校長 金泉 隆一

	新 継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 <誰が、何を、どのように>	達成確認方法	達成目標 (=数値) <いつまで・何を・どの程度>
1	改善	朝学習	全児童 国語中心 (算数)	毎週火・水・金 始業前15分	【指導者体制】担任 + 専科 【取組のねらい】学習内容の復習・確認を行う。 【使用教材】漢字、読解等のプリント学習	定期的に ミニテストを 実施	ミニテストで全員が正 答率80%以上。
2	継続	放課後補習教室 (全教職員による)	全学年 算数 正答率70%未満 (区調査・単元テ スト等)	毎週木曜日 放課後30分	【指導者体制】担任+専科 【取組のねらいと方法】 教員一人に児童3名までとして対象者を決める。 つまずきをさかのぼり、個に応じた復習問題を 与え、指導する。 【使用教材】次へのステップ、ベーシックドリル 他	定着度 確認テスト (9・12月実施)	12月実施する定着度確 認テストで目標値を通 過する児童 95%以上
3	改善	放課後補充 (担任による)	全学年 国語・算数中心	木曜日以外 可能な放課後	【指導者】担任 【取組のねらい】 現学年と前学年までの学習内容のつまずきを、 担任が個に応じて指導する。 【使用教材】教科書、次へのステップ等	授業中の様子 確認テスト	正答率70%
4	改善	サマースクール	全学年 国語・算数 各学年10名程度。	夏季休業日中の 10日間 各日45分	【指導者体制】担任+専科 【取り組みのねらい・目的】 担任の少人数指導を基本に進める。初日に定着 度テストを実施する(ベーシックドリル等活用)。解 けなかった問題の解き直しや授業内容で理解 が完全でない内容の補充問題を行う。 【使用教材】プリント教材	サマースクール 最終日に、確認 テストの実施	確認テストで全員の 正答率5%アップ
5	継続	家庭学習の手引きの活用	全学年 全員	年3回 5月、9月、 1月	【取り組みのねらい】 ・25年度に作成した家庭学習の手引きを4月 当初に保護者に配布し、保護者会で担任から 説明する。 ・家庭学習強化旬間とし、宿題の提出率を担当 が確認する。提出できない児童に対しては、 放課後指導等で課題を終了させる。	宿題提出状況 調査	宿題提出率90%以上